

分類 番号	A3	取組 名称	舞鶴市域の歴史研究と成果の博物館展示への応用に関する調査研究
研究代表者：	文学部	職・氏名：	准教授・横内 裕人、上杉 和央
研究担当者：	京都府立大学（菱田哲郎、藤本仁文、向井佑介） 外部分担者・協力者（奥谷三穂氏、小室智子氏ほか）		
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名）	京都府舞鶴市		
【研究活動の要約】			
<p>舞鶴市郷土資料館のリニューアルに向けて、常設展示・特別展示に寄与する舞鶴市域の歴史や文化財の発見・再発見につとめました。とくに、各集落が所蔵されている文書や絵図、また民俗的な行事、そして景観に残る文化遺産について調査をおこない、舞鶴市域には歴史や文化を物語る豊かな地域遺産がまだまだたくさんあることを確認しました。</p>			
【研究活動の成果】			
<ul style="list-style-type: none"> 舞鶴市域には江戸時代の絵図や明治時代の地籍図が豊富に残されています。寸法が大きく、簡単に見ることが難しいものも多いため、必要なものについてはスキャニングや写真撮影をおこない、PC画面等で閲覧可能となるような準備をしました。今後、郷土資料館等での活用が期待されます。 地域の歴史や文化を掘り下げるために、①堂奥、②多門院、③和田、の3地区で資料調査や聞き取り調査を実施しました（前年度でおこなったACTRに引き続き、実施）。調査を通じて、現在も維持されている行事、すでに失われた行事、景観の変遷などについて知ることができました。地区の中で、地区の歴史の継承が難しくなっている点も看取され、記録しておくことの重要性を改めて感じました。 西国三十三所観音巡礼の巡礼路に沿う形で街道景観調査を実施しました。各種の道しるべや小祠などについて、それらの碑文を確認し、地図上に位置を落としました。 			
【研究成果の還元】			
<p>成果報告会については、平成28年度に実施する予定です。</p> <p>成果を掲載した報告書は次の2点があります。いずれも府立大学図書館や舞鶴市域の図書館で閲覧可能です。</p> <p>「文化遺産叢書・第11集 舞鶴地域の文化遺産と活用」（府大図書館で閲覧可）</p> <p>「京都府立大学文学部歴史学科 フィールド調査集報2」（府大図書館で閲覧可）</p>			
【お問い合わせ先】			
文学部		准教授・上杉和央	
Tel: 075-703-5278		E-mail: kuesugi@kpu.ac.jp	

参考 (イメージ図、活動写真等)



地籍図スキャンの一例 (倉梯村地籍大図)



地籍図の画像合成例 (和田地区)



聞き取り調査の様子 (和田地区)



街道調査の様子①



街道調査の様子②



街道調査の様子③



街道調査の様子④